

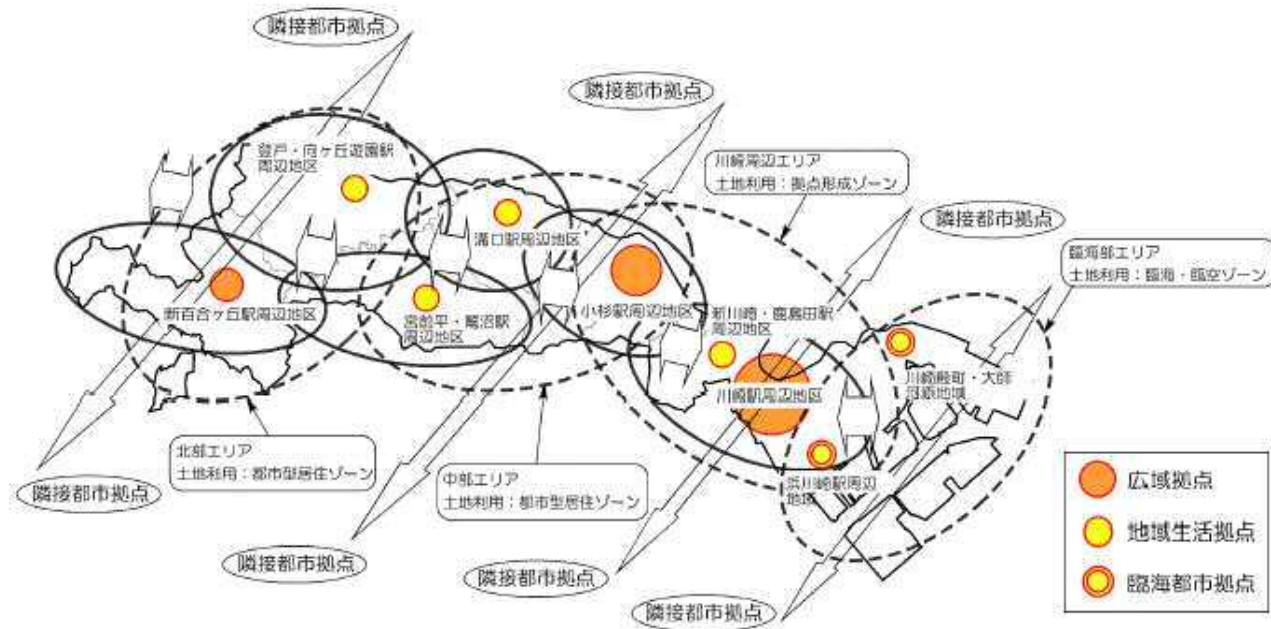
5 参考資料

川崎駅周辺地区の位置付け～商業・業務機能を中心とした高度利用による広域的な拠点形成と基盤整備等による都市の防災性・回遊性の向上～

①本市の都市構造のイメージ

「民間活力を活かした個性と魅力あふれた広域拠点の形成」

○横浜や東京と近接している首都圏における地理的な優位性を活かし、既存の高い商業・業務機能の集積を活かしながら、首都機能の機能強化を進める広域拠点に位置づけられています。



都市構造のイメージ図

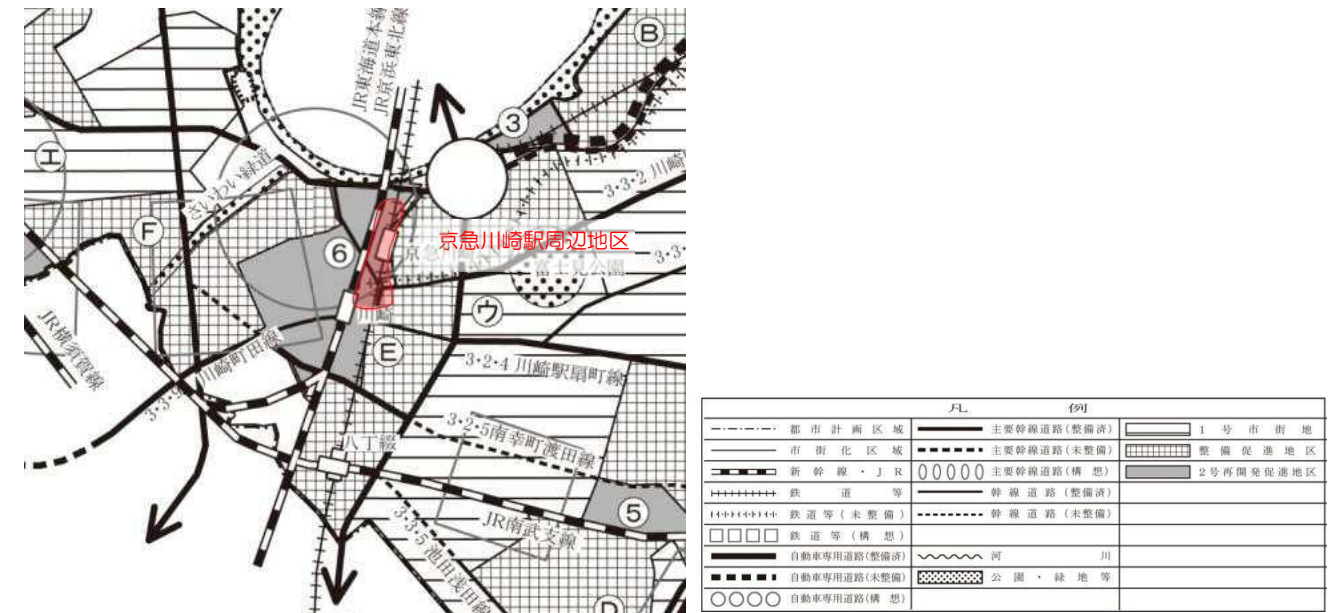
川崎駅周辺地域の役割

地理的優位性を活かした首都圏における広域拠点としての役割が求められています。

②「都市再開発の方針」における位置づけ

「中枢業務機能や広域的な商業機能が集積する川崎市の広域拠点としての役割」

○川崎都市計画都市再開発の方針において、市街地再開発事業や民間活力の誘導等により、土地の高度利用を図るとともに、道路等の都市施設の高水準な整備を図る2号再開発促進地区として位置づけられています。



都市再開発の方針における京急川崎駅周辺地区の位置づけ

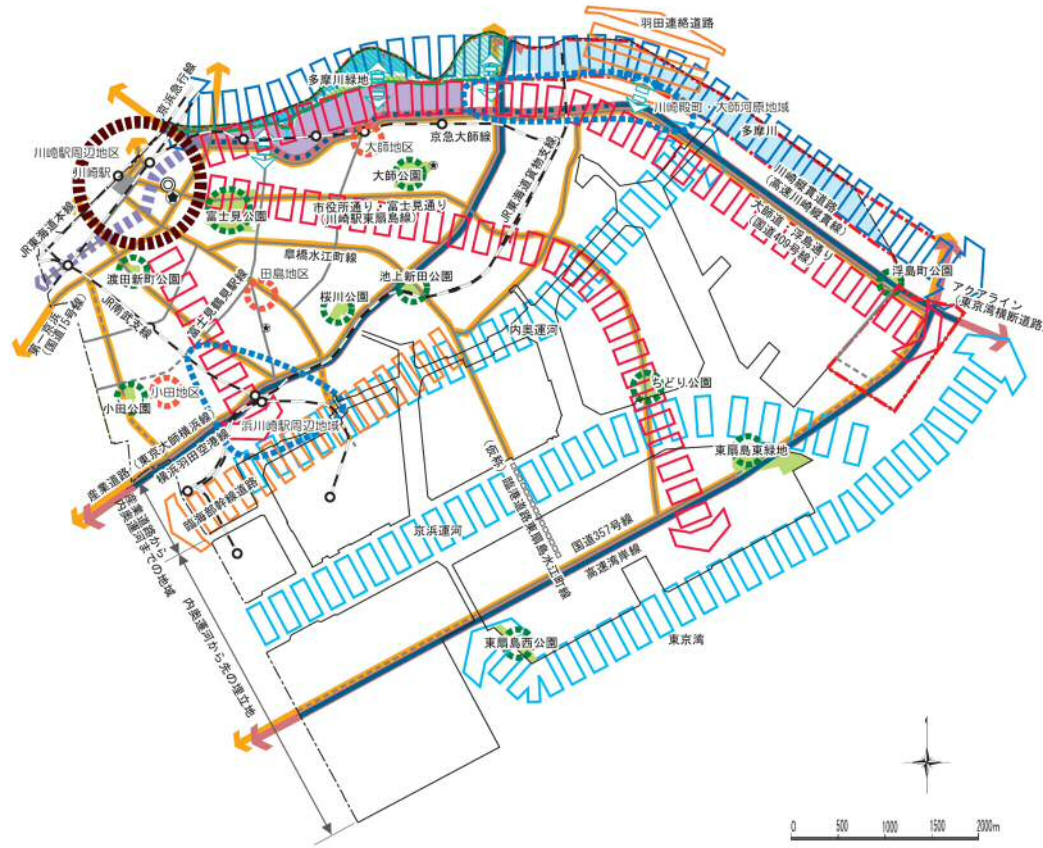
川崎駅周辺地域の役割

高水準の公共施設整備等と中枢業務機能や広域的な商業業務、文化・交流、行政等の高次な都市機能の集積を適切に誘導し、広域的な拠点の形成を目指すことが求められています。

③「川崎市都市計画マスタープラン」における川崎駅周辺地域の位置づけ

「広域から人を呼びこむことができる個性と魅力にあふれた広域拠点」

- 「川崎市都市計画マスタープラン（平成 19 年 3 月）」において川崎駅周辺地区は本市の中心的な「広域拠点」として、中枢業務機能や広域的な商業機能、文化・交流、行政等の高次な都市機能の集積を図るとともに、優良な都市型住宅の建設を適切に誘導し、計画的な複合的土地利用による都市機能の強化を図り、「商業業務エリア」の形成を目指しています。
- 中心地区では、市街地再開発事業や地区計画等の活用により、土地の計画的な高度利用を図り、市街地環境の改善や都市基盤整備、都市計画の向上に資する計画的な土地利用を誘導します。



川崎市都市計画マスタープラン都市構造方針図

基本凡例		方針	
市役所・区役所・支所	鉄道駅	広域拠点	生活拠点
自動車専用道路	自動車専用道路(事業中・計画)	臨海都市拠点	緑の拠点
都市計画道路(完成・80%整備済区間)	都市計画道路(事業中・計画)	広域幹線道路	主な幹線道路
主な河川	市街化調整区域	臨港道路(計画)	幹線道路(構想)
多摩川緑地	主な公園・緑地等	歴史軸(旧東海道)	
		海への軸	多摩川軸
		親水空間のネットワーク	多摩川へのアクセスの改善(※1)
		多摩川リバーサイド地区	

(※1) 特定の場所を示すものではありません。

川崎駅周辺地域の役割 計画的な土地利用の誘導による商業業務エリアの形成が求められています。

④「川崎市総合都市交通計画」における川崎駅周辺地域の位置づけ

「民間活力を活かした個性と魅力あふれた広域拠点の形成」

- 「川崎市総合都市交通計画（平成 25 年 3 月）」において、重点施策として交通安全・安心の強化が挙げられており、安全で安心な歩行空間づくり等が取り組みの方針として挙げられています。
- また、公共交通の強化のため、都市計画道路などの整備による駅へのアクセスの向上や駅周辺の特性に応じた駅前広場の整備等があげられています。

【重点施策】

- (1) 都市の骨格を形成する交通機能の強化
- (2) 交通の安全・安心の強化
- (3) 市民生活を支える公共交通の強化
- (4) 環境に配慮した交通の低炭素化
- (5) 臨海部の交通機能の強化

【取り組みの方針】

- (2) 交通の安全・安心の強化
 - ア 安全性の向上（安全・安心な歩行空間づくりの推進）
 - イ 安全で歩行者が安心して利用しやすい空間づくり
 - イ ユニバーサル（バリアフリー）化の推進とグローバル化への対応
- (3) 市民生活を支える公共交通の強化
 - ア 公共交通へのアクセス向上
 - イ 駅前広場の整備など
 - イ 駅周辺の特性に応じた交通環境の整備及び公共交通の利用促進
 - イ 自由通路や駅前広場等の整備
 - イ 駅前広場等の整備、案内情報等の充実
 - イ 地域交通網の見直しや駅前空間の充実
- (5) 臨海部の交通機能の強化
 - ・ 殿町等の臨海部の拠点形成に向けて、川崎駅や羽田空港、京浜3港間のアクセス性の向上
 - ・ 将来の土地利用転換を見据え、臨海部の都市機能を支える交通機能強化に向けた方策検討
 - ・ 更なる交通機能の強化を図るため、東京・横浜方面や、羽田空港や京浜3港間を繋ぐ新たな鉄道や道路の整備を推進

重点施策（川崎市総合都市交通計画より）

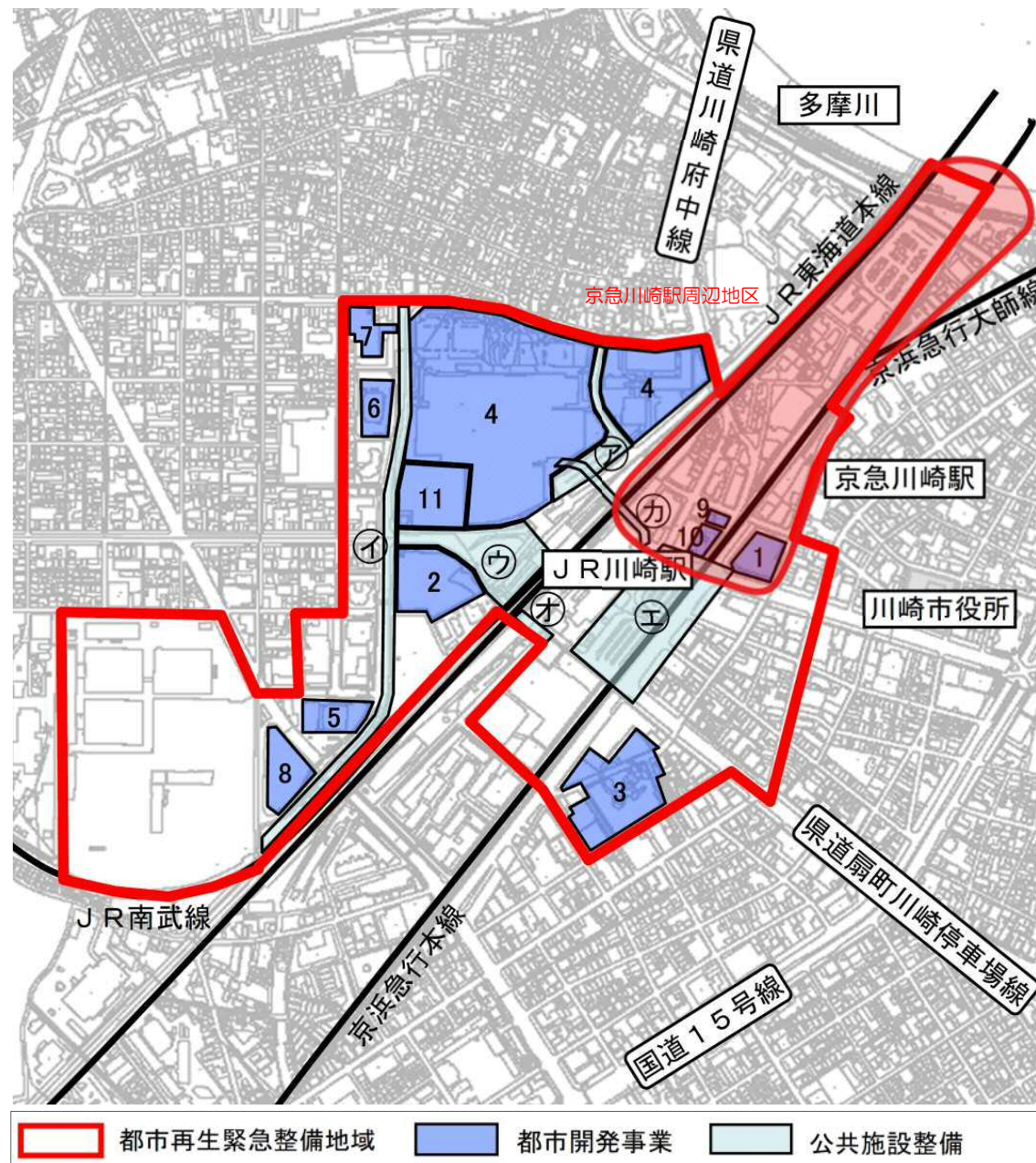
川崎駅周辺地域の役割 誰もが安全、安心、快適に利用できる交通環境の整備や公共交通を駅を中心に利用しやすくし、強化することで、利用促進を図ることが求められています。

⑤「川崎市都市再生緊急整備地域」における位置づけ

「次世代を見据えた高次な都市機能拠点」

○川崎駅周辺の回遊性向上に資する交通結節機能の改善・強化や、災害時における広域的な都市拠点としての防災機能の強化が求められています。

○公共施設の整備においては、西口地区における地区内の回遊性の向上と歩行者空間の整備や、東口駅前広場から京急川崎駅周辺地区における、防災性の向上と回遊性の強化に資する老朽建物の更新・改善及びこれと併せた歩行者空間の整備が求められています。



都市再生緊急整備地域 都市開発事業 公共施設整備
都市開発事業の実施状況

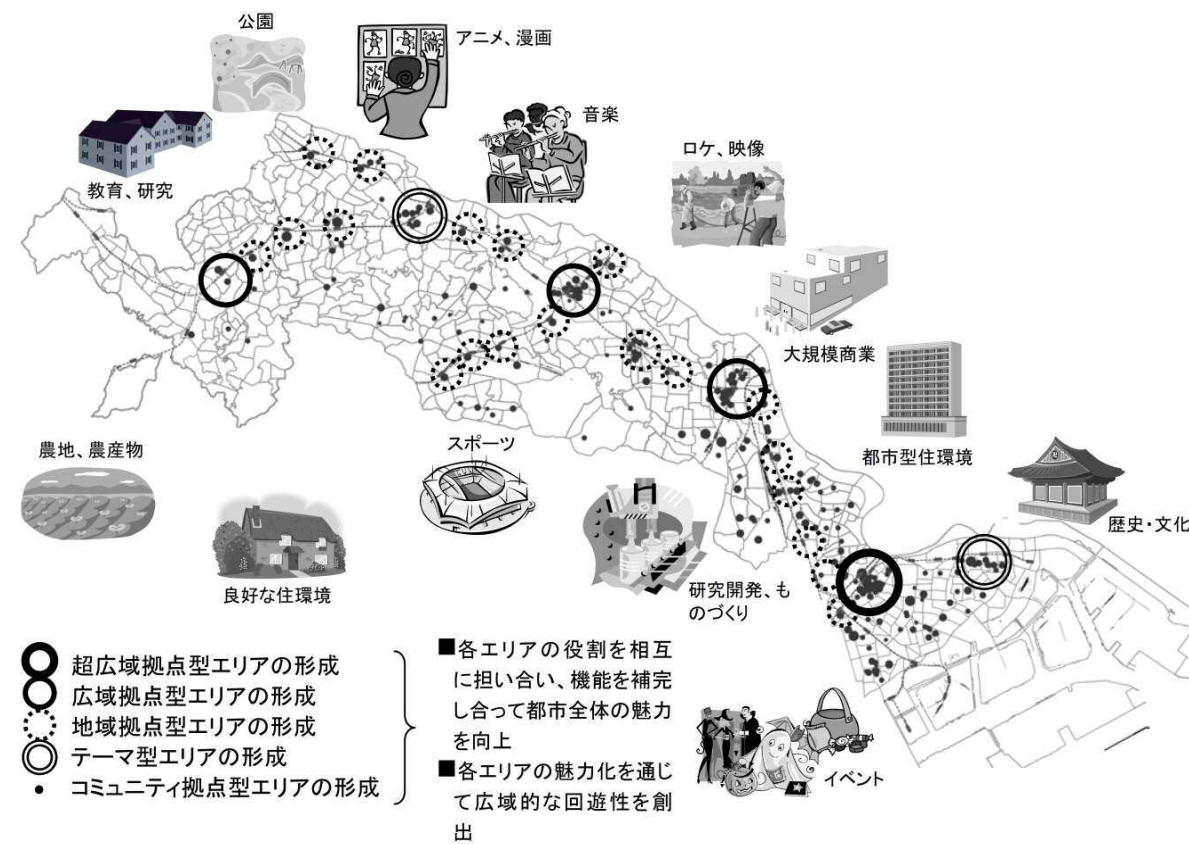
川崎駅周辺地域の役割 広域的な交通結節点としての立地特性を活かし、商業・業務・研究開発・文化・住宅等の都市機能がコンパクトに集積した魅力と賑わいのある都市拠点の形成が求められています。

⑥「川崎市商業振興ビジョン」における位置づけ

「川崎駅周辺：超広域拠点型エリア」

○川崎市商業振興ビジョンにおいて、多数の大規模商業施設や多くの商店街が集積し、都市ブランド力のある商業集積地の形成を目指す超広域拠点型エリアとして位置付けられています。

○大型店、商店街等が一体となった魅力ある中心市街地の創出による回遊性の向上が求められています。



商店街・商業集積エリアの分布イメージ

川崎駅周辺地域の役割 海外からの受け皿として、地方都市と首都圏を繋ぐ玄関口としての役割が求められています。